

装置本体

製品番号	品名	包装単位
CBB-F011003	ClearCell® FX システム - 本体 1 台 - インストールキット 1 式	1 式
*****	据付調整費	-
*****	運搬搬入費	-

試薬および消耗品

製品番号	品名	包装単位
CBB-FR001002	CTChip® FR1S (1 枚)	1 枚
CBB-FR015010	CTChip® FR1S (10 枚)	1 x 10 枚
CBB-F015001	CCFX シングルランキット (10 ラン分)	1 式
CBB-F015006	CCFX シングルランキット (50 ラン分)	1 式
CBB-F015002	CCFX high purity ランキット (10 ラン分)	1 式
CBB-F015008	CCFX high purity ランキット (50 ラン分)	1 式
CBB-F016003	CCFX Resuspension Buffer (50 mL)	1 本
CBB-F013005	CCFX Input Straw with Lock Cap (10 本)	1 セット
CBB-F016012	CCFX Cleaning Solution (100 mL)	1 本
CBB-F016009	CCFX Diluent Additive (20 mL)	1 本
CBB-F016013	CCFX Diluent (1000 mL)	1 本
CBB-F016007	CCFX RBC Lysis Buffer (100 mL)	1 本
CBB-F016002	CCFX RBC Lysis Buffer (250 mL)	1 本
CBB-F013006	CCFX 15mL Centrifuge Tube (10 本)	1 x 10 本
CBB-F013001	CCFX 50mL Centrifuge Tube (25 本)	1 x 25 本
CBB-F016014	CCFX Deionised Water (100 mL)	1 本
CBB-F013008	Silicon Isorater™ (25 個)	25 個
CBB-F015011	CCFX Decontamination キット (4 ラン分)	1 式

製品仕様

装置仕様	
回収原理	ラベルフリー (細胞サイズ)
チップ	スパイラル状微小流路ディスポーザブルチップ
処理できる最大血液量	7.5 mL
オペレーション	自動
サンプルラン時間	約 53 分 / サンプル (protocol 1)
前処理時間	約 30 分 / サンプル
採血後の保存可能時間	8 時間 (EDTA 採血管)、72 時間 (細胞固定採血管)
細胞の回収	懸濁液 (PBS)
装置サイズ (WDH)	51 x 40 x 51 cm
装置重量	35 kg
電源 : 入力定格	100V, 1A, 50/60Hz
消費電力	96W
使用環境	
周辺温度	18 - 32 °C
周辺湿度	20 - 60 %

※ 本製品は試験研究用です。医療や診断目的にはご使用いただけません。
※ 価格、外観、仕様などは、予告なしに変更することがあります。
※ それぞれの商標や登録商標、製品名は各社の所有する名称です。

代理店

輸入元



本社 〒130-0021 東京都墨田区緑3-9-2 川越ビル
Tel. (03)5625-9711 Fax. (03)3634-6333
西日本営業所 〒532-0003 大阪市淀川区宮原5-1-3 NLC新大阪アースビル403
Tel. (06)6394-1300 Fax. (06)6394-8851
www.scrum-net.co.jp

CBM20210326A

本社は2021年6月移転予定です
6月以降の新住所・電話番号・FAX番号は弊社ホームページでご確認ください



血中循環がん細胞 濃縮回収装置

ClearCell® FX システム

血中循環がん細胞をラベルフリーで濃縮回収！



Bringing Valuable Solutions
from Around the World to Your Lab



リキッドバイオプシーによる血中循環がん細胞からのバイオマーカー開発に！

患者血液から血中循環がん細胞をラベルフリーで濃縮回収！

血中循環がん細胞（Circulating Tumor Cells; CTCs）は、腫瘍組織から血中に侵入して体内を循環しているがん細胞で、がんの血行性転移の主な原因といわれています。CTCs を利用すると、患者に負担の少ない非侵襲的な診断が可能になると考えられるため、近年バイオマーカーとしての活用が期待されています。

CTCs は血液中での存在数が極めて少ないため、従来のセルソーターなどの方法では回収することが困難でした。また、免疫磁気ビーズを使用する方法では、EpCAM などの上皮マーカーを発現していない CTCs（EMT を起こした CTCs）を回収することができず、回収できる CTCs の数が少ないなどの課題がありました。ClearCell® FX システムは、抗体などの分子マーカーを使用せずにラベルフリーで生きたまま CTCs を濃縮回収できる画期的なシステムです。回収された CTCs は、遺伝子解析や免疫染色など幅広い実験に活用していただくことが可能です。



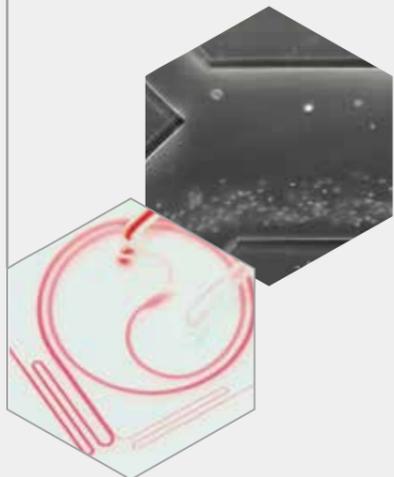
特徴と利点

- 抗体を使わずにラベルフリーで CTCs を濃縮回収
- 細胞表面抗原の発現に依存しない CTCs の回収が可能
- 患者血液 7.5 mL から CTCs を濃縮回収
- 自動化されたワークフロー
- 高い CTCs 回収率と低い白血球バックグラウンド
- 回収した CTCs と様々なダウンストリーム解析に利用可能

回収原理

ClearCell® FX システムでは、CTCs の回収にマイクロ流路チップを使用します。チップにはスパイラル状のマイクロ流路が刻まれています。前処理した血液検体をこのマイクロ流路チップに流すと、CTCs が、サイズと質量の違いにより、流体力学的に、赤血球や白血球などの他の血球成分と分離されます。分離された CTCs は、遠心チューブに懸濁状態で回収されます。

マイクロ流路チップはディスポーザブルのため、検体間でのクロスコンタミネーションのリスクを避けることができます。



ワークフロー



アプリケーション

蛍光 in-situ ハイブリダイゼーション
非小細胞肺癌由来 CTCs の EML-ALK 融合遺伝子を FISH で解析 (National Cancer Centre, Singapore より画像提供)

蛍光免疫染色
CTCs を抗 PD-1 抗体で免疫染色 (The Institute of Cancer Research, Royal Cancer Hospital, UK より画像提供)

細胞カウント
回収した CTCs を抗サイトケラチン抗体、抗 CD45 抗体、DAPI で染色して細胞数をカウント

細胞培養
GFP 発現 MCF-7 細胞を ClearCell FX で回収後に培養

mRNA 解析
qPCR、デジタル PCR、NGS (RNAseq) による遺伝子発現解析や融合遺伝子解析が可能です。

DNA 解析
NGS やデジタル PCR による遺伝子変異解析が可能です。